

# 2023年5月例会報告

**開催日時** : 2023年(令和5)5月27日土曜日 16~18時

**会場** : 阿佐谷地域区民センター 第5集会室 **参加人数** ; 25名(講師、会員13名、非会員11名)

**講師** : 北野直衛氏 長野県伊那市生、東京トヨタ勤務を経て、奥の細道道中日記ほか出版多数

**講演テーマ** : 「義経」 英雄伝説ではなく、時代を生きた人間としての義経に迫る。

北野氏の自著『義経』(約200頁)をもとに、15ページの資料にまとめられ講演がすすめられた。分かり易く簡潔にまとめられているため、説明を聞いて直ぐに理解ができた。

本講演は義経があくまで中心で、義経の誕生から始まり、父義朝が平家の戦いに完敗し義経は鞍馬山におくられた。その後弁慶と奥州平泉に行き、壇ノ浦の戦いでは平氏を入水させたが、一方海戦の前の地上戦では農家などを焼き払うなどの振る舞いを行い、さすがの北野氏も義経にかわって、心底謝ったとの心境が語られている。

講師は自ら探求し行動することにいとまがなく、義経が幼児期を過ごした奈良竜門の郷を訪問し常盤御前と関係の深い妙香寺を訪れ、往時が忍ばれる様々な事に遭遇したことが、興味深く綴られている。

義経の最期は、これまでの大戦果が京の都で大評価され、何となく兄頼朝も危機感を覚えたこと、また奥州藤原秀衡公が亡くなったという不運も重なり、義経は高館で自害した。

**【感想】** 約900年前の時代に起ったことであるが、北野氏の語り口からは、古臭さは全く感じられず人間の暖かさに、じわっと包まれた思いでした。参加者の皆様もそれぞれに思いをはせたと推察します。有意義な時間をくれた講師に感謝。 (文:小川啓介、写真:宮崎知子/小川)



▲講師 北野氏



▲出版書籍



▲懇親会



◀講演風景

参加者(敬称略); 高田、小池、内田、柚木、小川(啓)、宮崎、永瀬、恩田、矢口、高橋、石村、鈴木堀越、非会員11名  
以上